



2023年3月期 中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社

2022年10月31日

アジェンダ



決算報告

取締役 執行役員副社長 佐伯 幸雄

2023年3月期 業績見込み

代表取締役社長 徳重 敦之



決算報告

取締役 執行役員副社長 佐伯 幸雄

2023年3月期 中間決算概要



前年同期比 増益増収

売上高 35.0% 増加

経常利益 109.9% 増加

親会社株主に帰属する当期純利益 35.5%増加

CN事業 IT投資は堅調も 製品の長納期化や円安がマイナス影響

EC事業 半導体製品への需要が旺盛 円安影響もあり好調

PB事業 受託開発 好調

業績概要 前期比

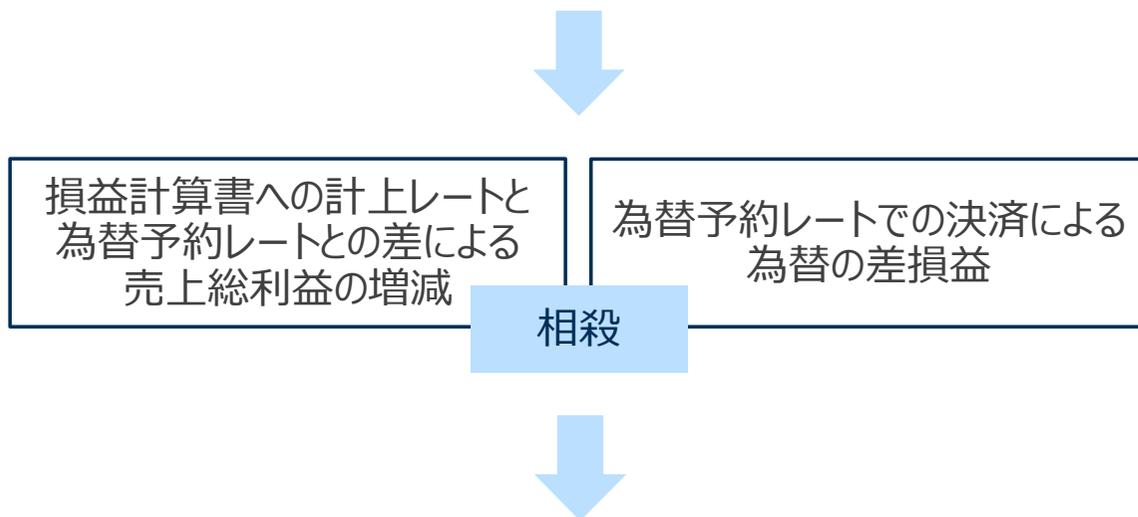


	2022年3月期 中間	2023年3月期 中間	増減額	2023年3月期予想 9月29日修正
売上高	82,780	111,769	28,989	110,000
売上原価	71,517	95,706	24,189	
売上総利益	11,262	16,062	4,800	
販管費	8,505	9,489	984	
営業利益	2,757	6,573	3,816	
営業外収益	137	160	23	
営業外費用	412	1,524	1,112	
経常利益	2,481	5,208	2,726	4,850
中間純利益	2,646	3,584	938	3,350
従業員数	1,280名	1,313名	33名	

※ 中間純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益
東京エレクトロン デバイス

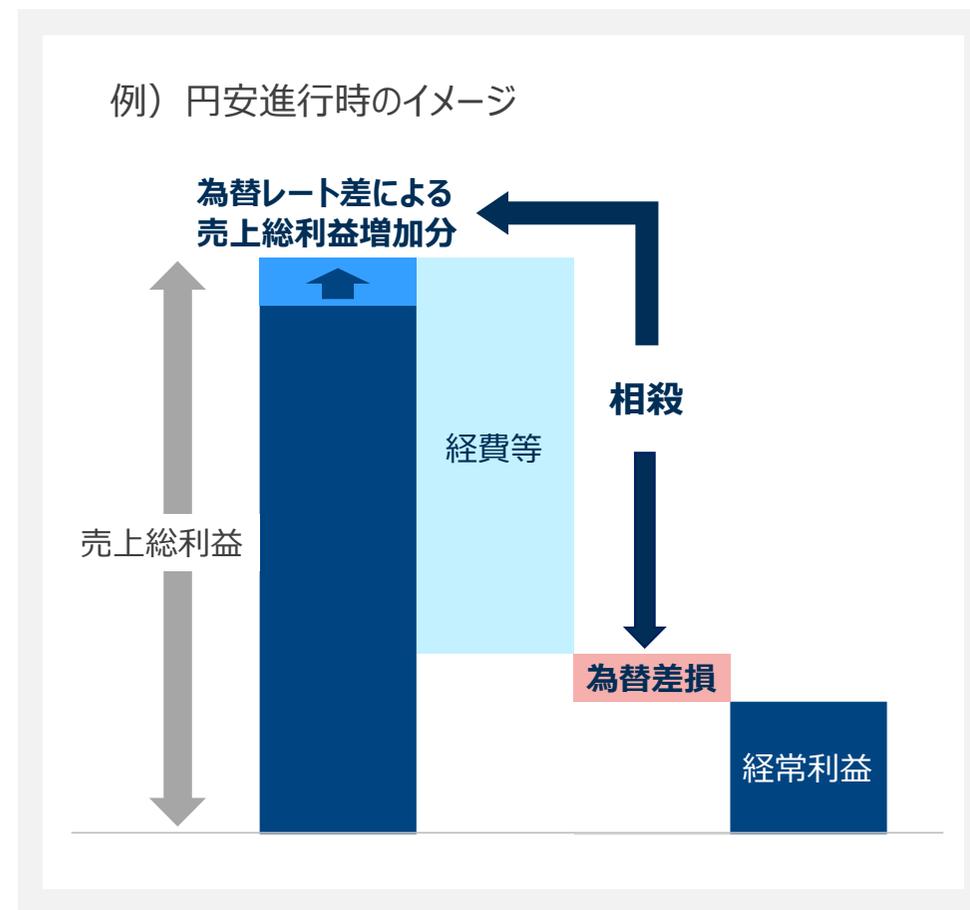
為替差損

為替リスクヘッジとして先物為替予約を実施

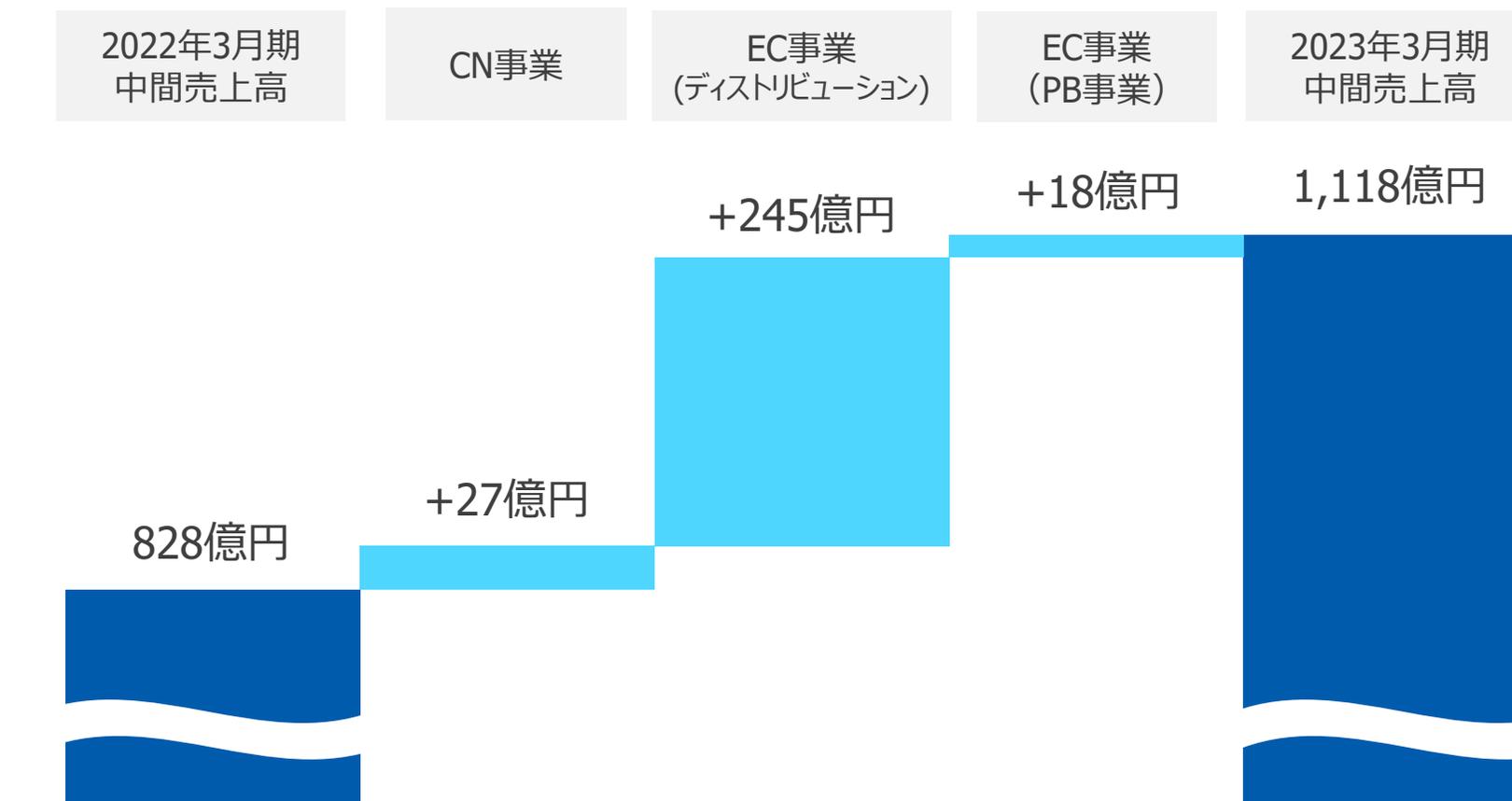


為替変動の経常利益への影響は軽微

※ ただし、先物為替予約コストである、日米金利差による金利ディスカウント費用は為替差損として計上されます。



業績概要 売上高 増減



※金額は四捨五入で記載しております

セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。
PB事業とは、プライベートブランド事業の略称であり、従来の呼称である自社ブランド事業を呼称変更しております。
PB事業には、東京エレクトロン デバイス長崎株式会社、株式会社ファーストを含んでおります。

セグメント別 売上高・利益

- CN事業 IT機器 長納期化も 販売・サービスともに売上高増加
円安影響と人員増による販管費増加で利益減少
- EC事業 半導体の供給問題継続も需要は旺盛 円安の影響もあり 売上高 利益ともに増加
(百万円)

	2022年3月期 中間		2023年3月期 中間			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額	セグメント利益	増減額
コンピュータシステム関連 (CN)事業	10,002	918	12,670	2,668	903	▲ 15
半導体及び電子デバイス (EC)事業	72,777	1,563	99,098	26,320	4,305	2,742
合計	82,780	2,481	111,769	28,989	5,208	2,726

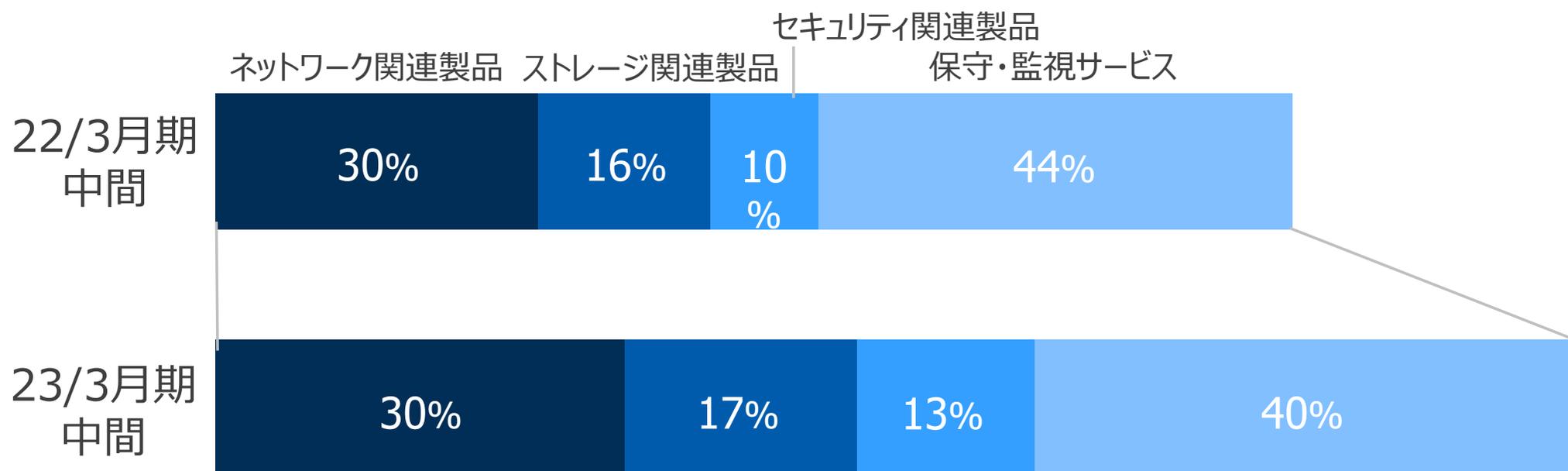
※ セグメント利益は経常利益
 ※ セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。

セグメント情報 CN事業 (1/2)



品目別売上高構成比

- ネットワーク関連製品 システムインテグレーター エンタープライズ向け堅調
- セキュリティ関連製品 クラウドセキュリティ エンドポイントセキュリティ伸長
- 保守・監視サービス堅調

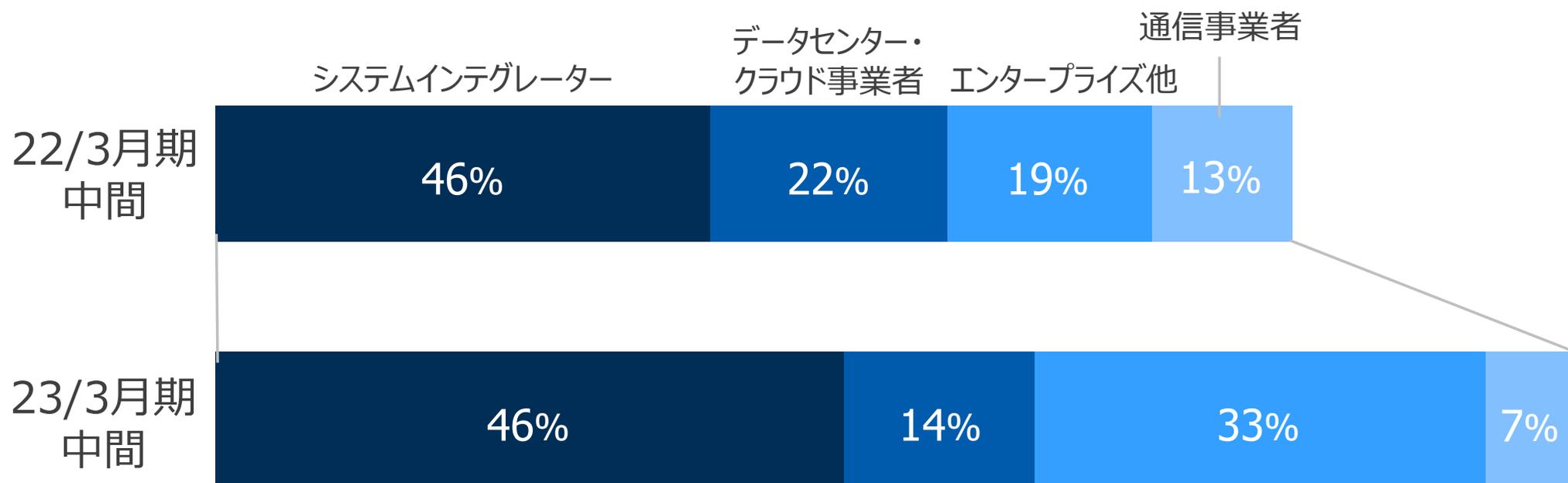


セグメント情報 CN事業 (2/2)



分野別売上高構成比

- システムインテグレーター向け 全品目で堅調
- エンタープライズ向け ネットワーク関連製品 セキュリティ関連製品 好調
- データセンター向け 長納期化の影響で減少

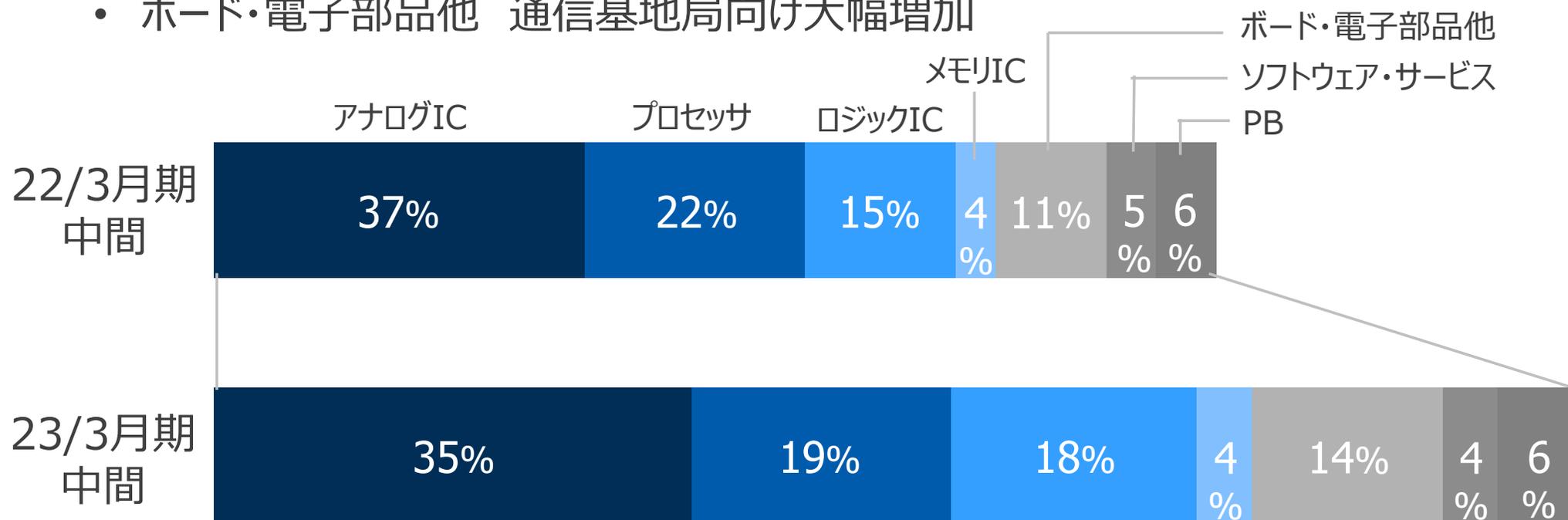


セグメント情報 EC事業 (1/2)



品目別売上高構成比

- アナログIC 産業機器向け 増加
- ロジックIC 産業機器 通信基地局向け 増加
- ボード・電子部品他 通信基地局向け大幅増加

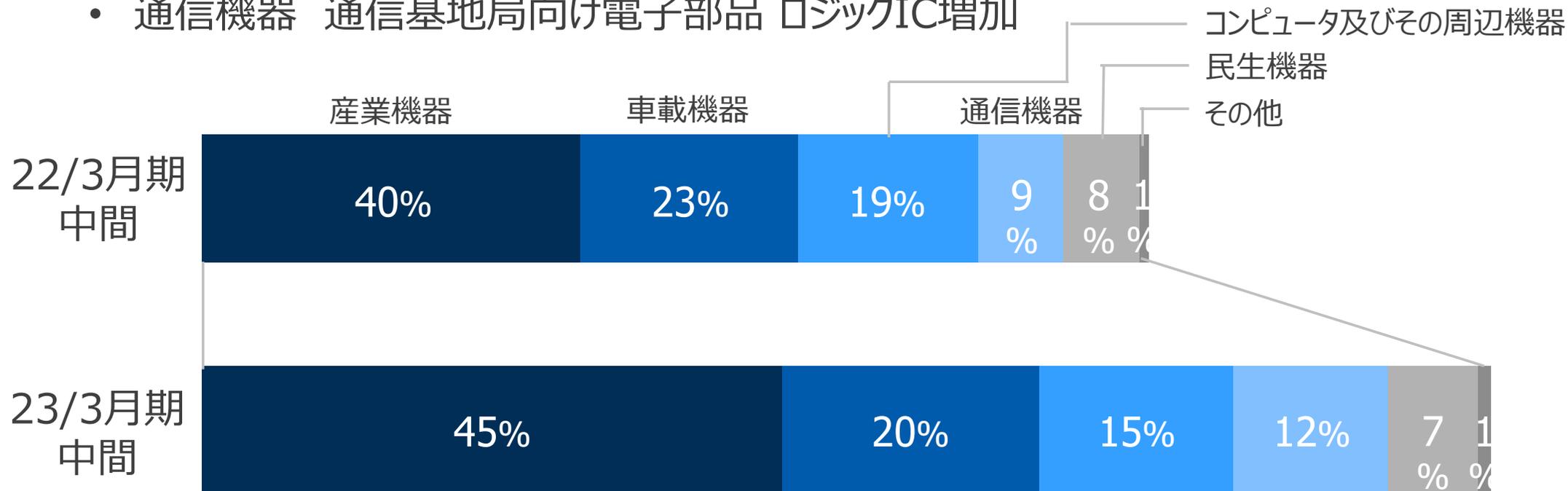


セグメント情報 EC事業 (2/2)



用途別売上高構成比

- 全分野で売上高増加
- 産業機器 アナログIC プロセッサ 受託開発増加
- 通信機器 通信基地局向け電子部品 ロジックIC増加



※ EC事業 用途別売上高構成比は分類を変更しております。

海外連結子会社 売上高 EC事業



- 産業機器向け 堅調
- コンピュータ及びその周辺機器向け 低調
- 円安影響あり

	2022年3月期 中間	2023年3月期 中間	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	20,931	25,985	5,053	24.1%
海外連結子会社 売上高比率	28.8%	26.2%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	190	193	3	1.7%
為替レート(円)	109.81	134.03		

※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

PB事業 売上高 EC事業



- 設計・量産受託サービス
 - TED長崎
 - ファースト
- 医療機器 半導体製造装置向け堅調
半導体製造装置向け好調
画像関連製品は回復基調

(百万円)

	2022年3月期 中間	2023年3月期 中間	増減額	増減率
PB事業売上高	4,261	6,088	1,826	42.9%
売上高比率	5.9%	6.1%		

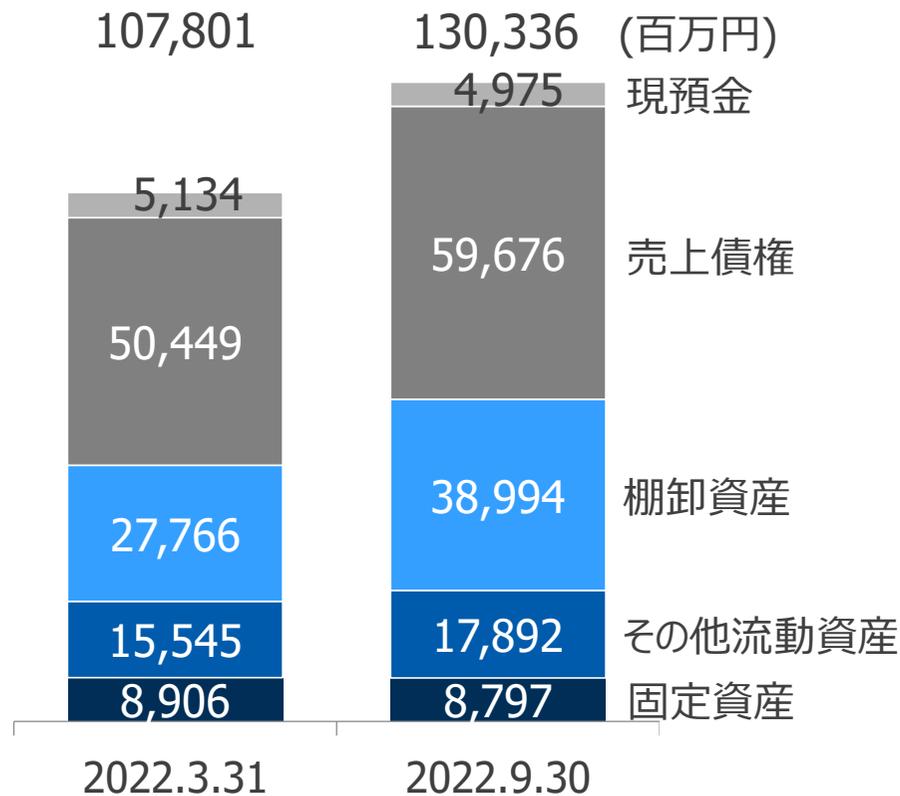
※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

貸借対照表



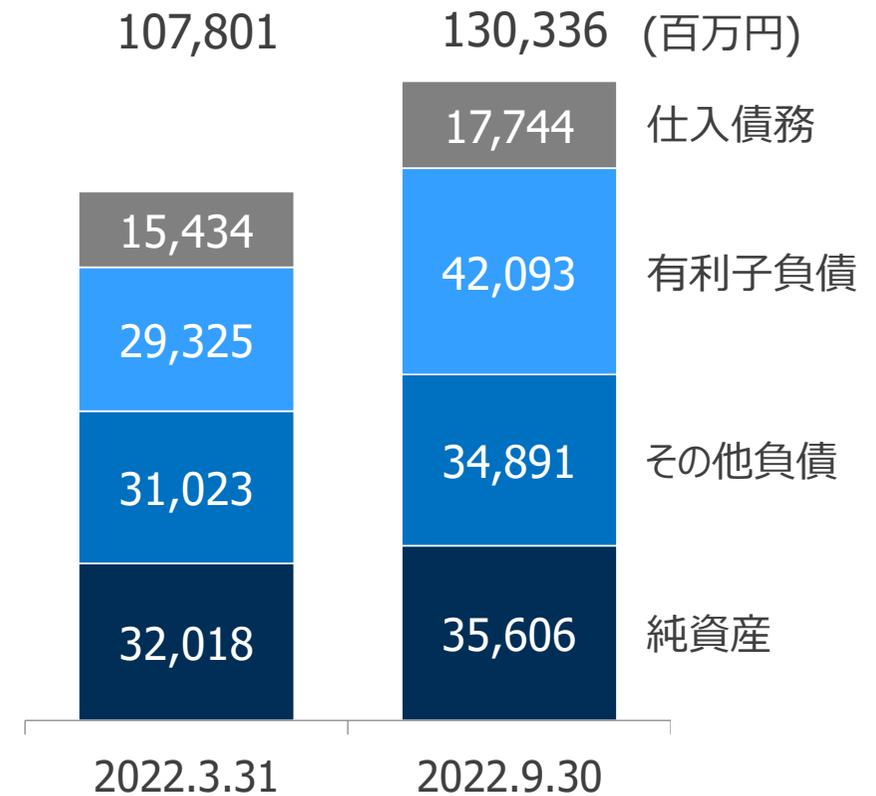
資産

- 受注 売上好調により 売上債権 棚卸資産増加
- 保守 サブスクビジネス増加に伴い 前払費用増加

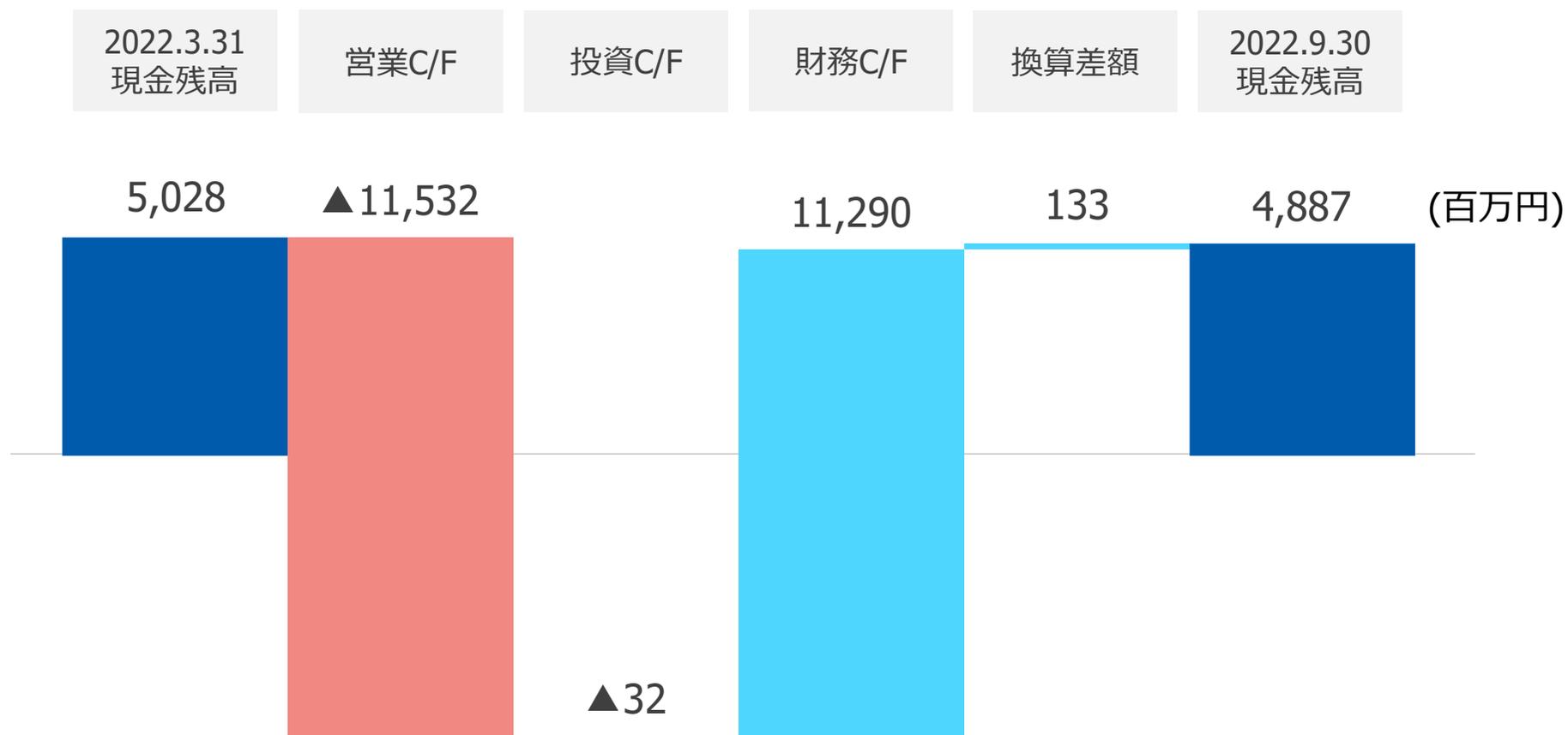


負債・純資産

- 発注増加に伴い 仕入債務増加
- 運転資金需要により 有利子負債増加



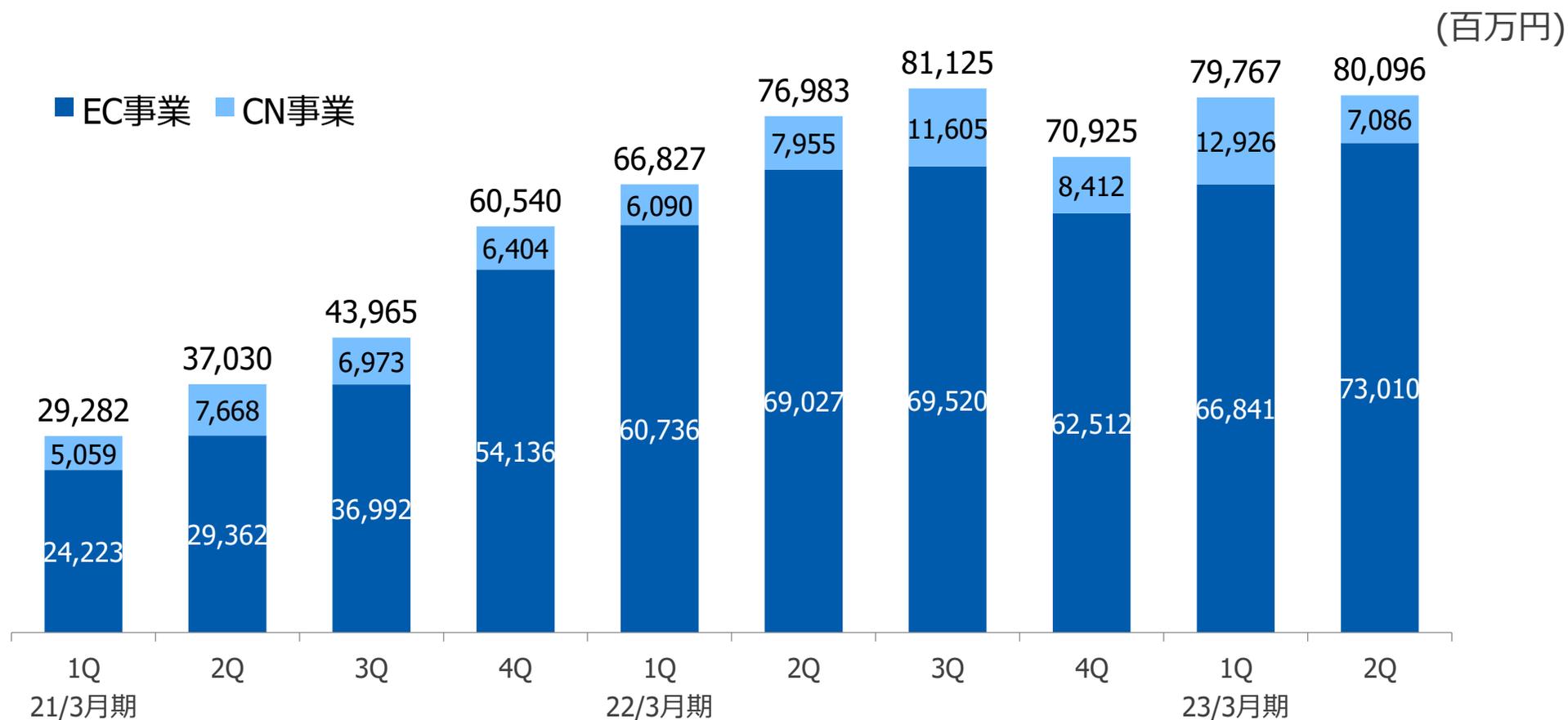
キャッシュ・フロー計算書



受注高の推移



- CN事業 2023年3月期は長納期受注増加 1Qは大型案件あり
- EC事業 2022年3月期4Q以降 正常化の方向





2023年3月期 業績見込み

代表取締役社長 徳重 敦之

2023年3月期 下期 事業計画前提 (1/2)



	期初想定 (通期)	修正想定 (下期)
為替の動向	・円安の水準で推移 (前期比)	・期初想定を上回る円安水準
半導体需給の動向	・上期は逼迫継続 ・下期より薄日が差す	・主力商品の逼迫継続
ロシア・ウクライナ 問題	・当社への事業影響の予測困難 (事業計画に組み入れず)	・変更無し
新型コロナウイルス 感染の動向	・経済活動への影響は軽減 (業績への影響は軽微)	・変更無し

2023年3月期 下期 事業計画前提 (2/2)



CN事業

- IT関連の 投資環境が堅調に推移
- IT機器の 長納期化の一部回復

EC事業

- 産機機器 車載機器を中心に 需要が堅調に推移
- 主力商品を中心に 需給逼迫の状況が継続

PB事業

- 産業機器 医療機器を中心に 需要が堅調に推移
- 部材費の上昇

2023年3月期 業績見込み



(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期			対前年比	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	179,907	111,769	118,230	230,000	50,092	27.8%
CN事業	23,460	12,670	14,229	26,900	3,439	14.7%
EC事業(連結)	156,446	99,098	104,001	203,100	46,653	29.8%
EC事業	146,229	93,010	97,189	190,200	43,970	30.1%
PB事業	10,217	6,088	6,811	12,900	2,682	26.3%
経常利益 (利益率)	7,318 (4.1%)	5,208 (4.7%)	5,791 (4.9%)	11,000 (4.8%)	3,681	50.3%
当期純利益 (利益率)	5,085 (2.8%)	3,584 (3.2%)	4,015 (3.4%)	7,600 (3.3%)	2,514	49.5%

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

株主還元

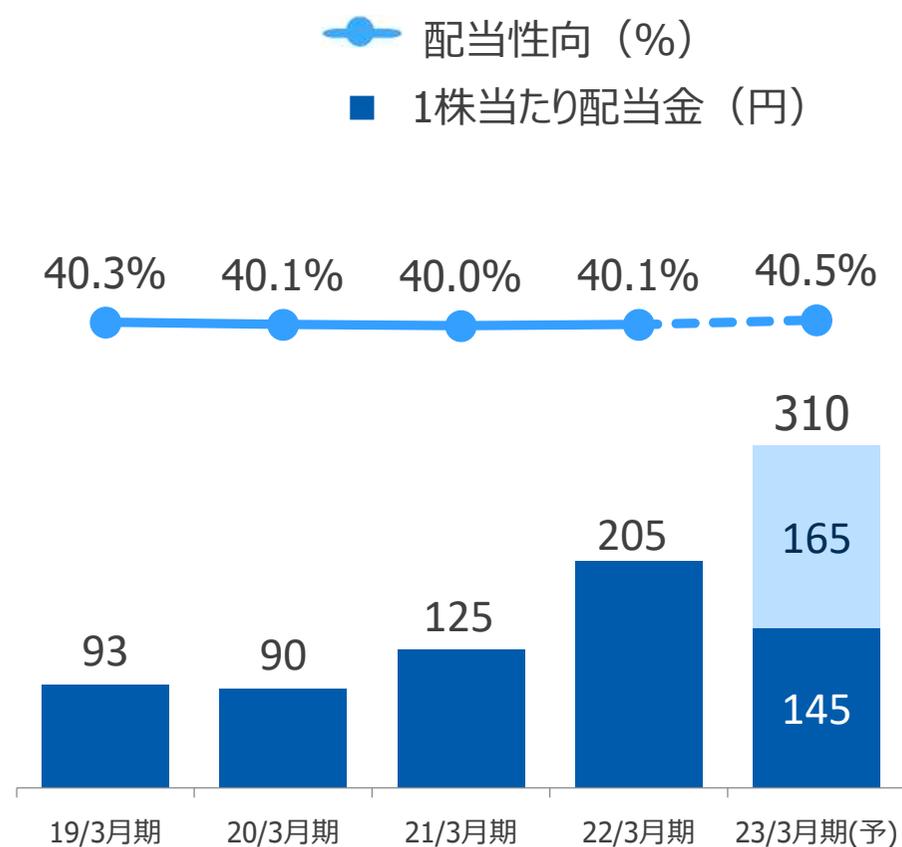


1株当たり配当金

(円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年3月期	
			期初予定	10/28修正
中間	40	105	105	145
期末	85	100	135	165
合計	125	205	240	310

配当金・配当性向



配当政策

- 配当性向 40%
- 安定的・継続的な配当

利益成長に向けた有望事業の推進 (1/4)



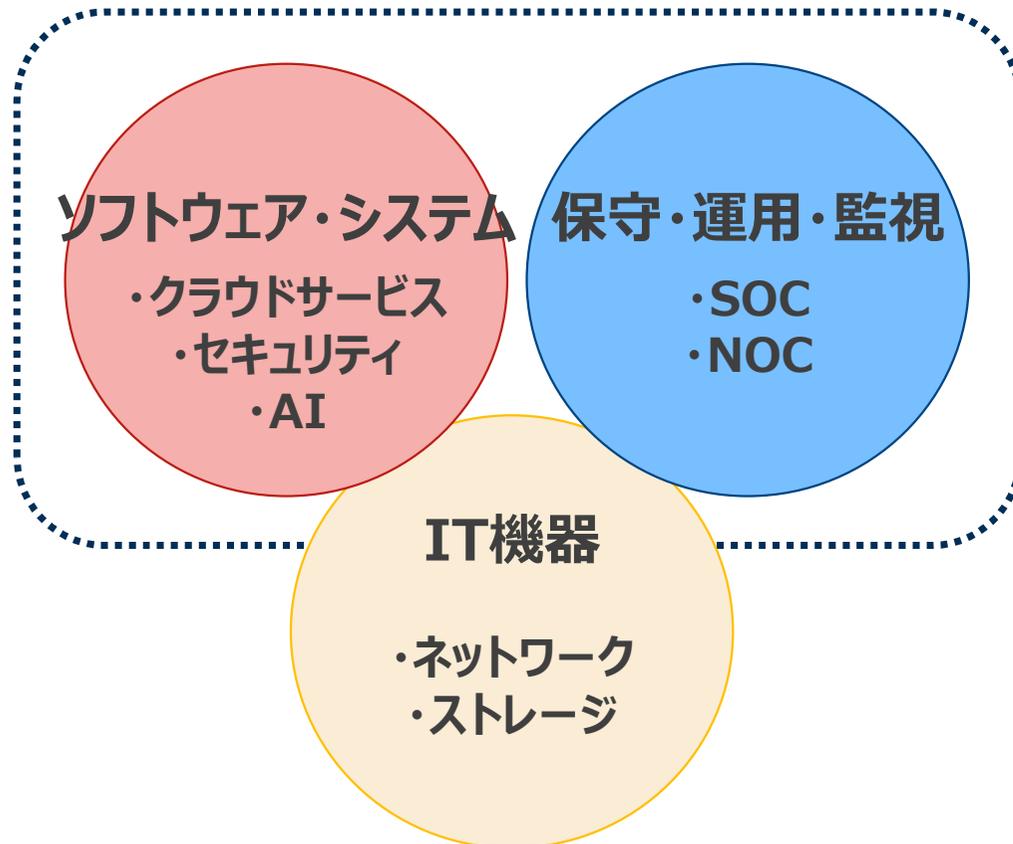
サービスビジネスの強化

- セキュリティ関連製品 および サービス
- AI 関連サービス (AI評価・検証)
- クラウドサービス

メーカー機能の強化

- ODM (医療・検体検査装置)
- モノづくりシステムの海外展開
- ロボットビジョンの高機能化
- 設計・量産受託サービス

サービスビジネスの強化



※ SOC (Security Operation Center)

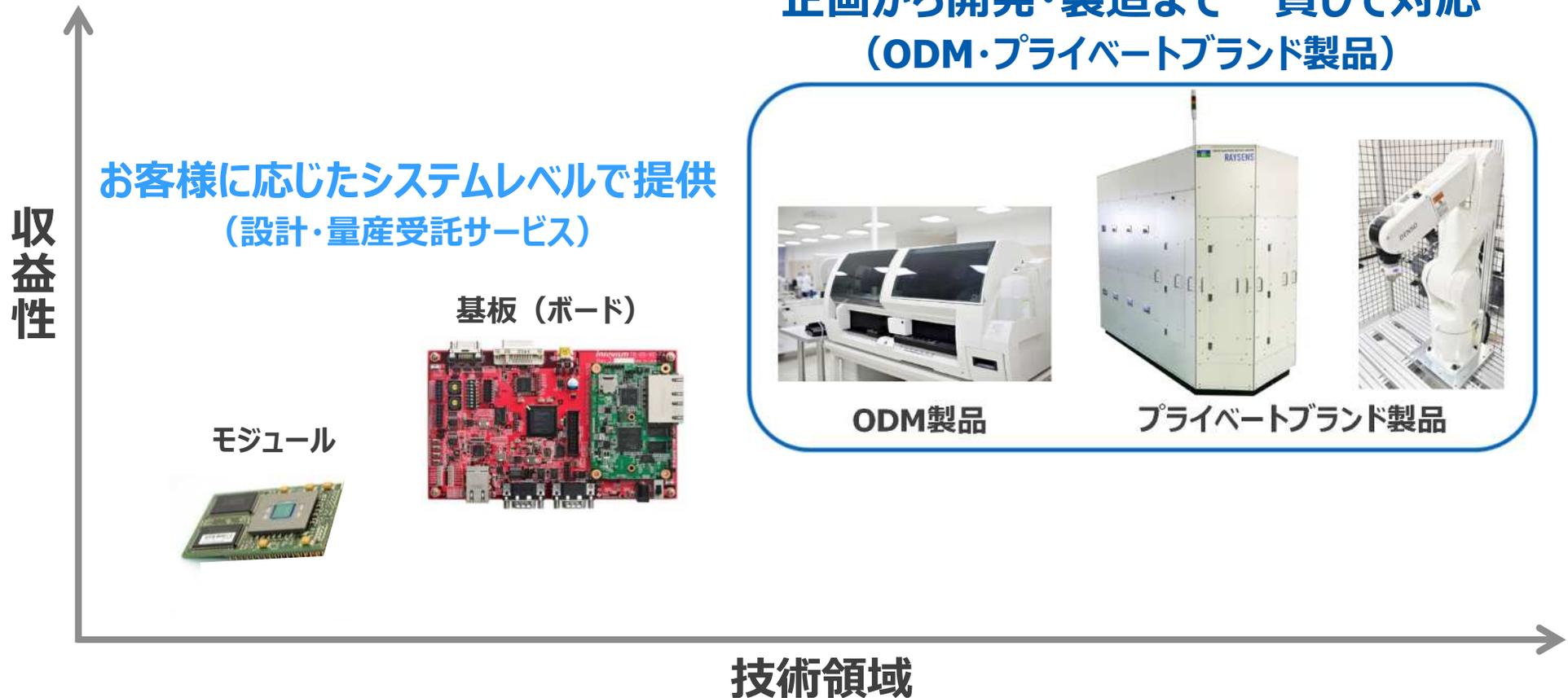
※ NOC (Network Operation Center)

シナジーによる促進

- 差別化・高付加価値化
- 販売機会の拡大
- ストックビジネスの積上げ



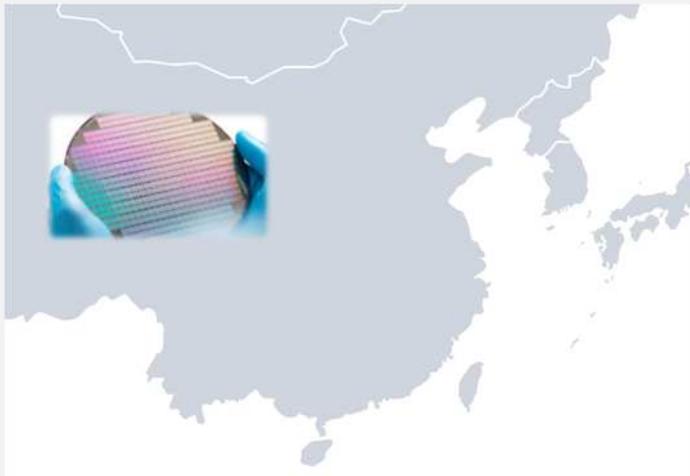
メーカー機能の強化



メーカー機能の強化

モノづくりシステムの海外展開

- 現地商社と提携
- 来年度より受注開始予定



ロボットビジョンの高機能化

- ピッキング実用レベルの向上
- 産業機器向け用途開発の促進



The logo features a stylized 'C' composed of three curved segments: a blue segment on the left, a green segment at the top, and a red segment at the bottom. To the right of this 'C' is the text 'onnect Beyond' in a bold, black, sans-serif font.

本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



補足資料

補足資料 一覽



- 2023年3月期 通期連結業績予想の修正 P30
- 中期経営計画 VISION2025 P31–P34
- CN事業 品目別売上高構成 P35
- EC事業 品目別売上高構成 P36
- EC事業 用途別売上高構成 P37
- 品目 P38
- 受注残高の推移 P39

2023年3月期 通期連結業績予想の修正

(2022年10月28日)



(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期		
		A: 前回発表予想 (2022年4月26日)	B: 今回修正予想	増減額 (B - A)
売上高	179,907	200,000	230,000	30,000
経常利益	7,318	8,500	11,000	2,500
当期純利益	5,085	5,900	7,600	1,700

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

中期経営計画 VISION2025：事業環境とMISSION



想定する事業環境

Society 5.0 の到来

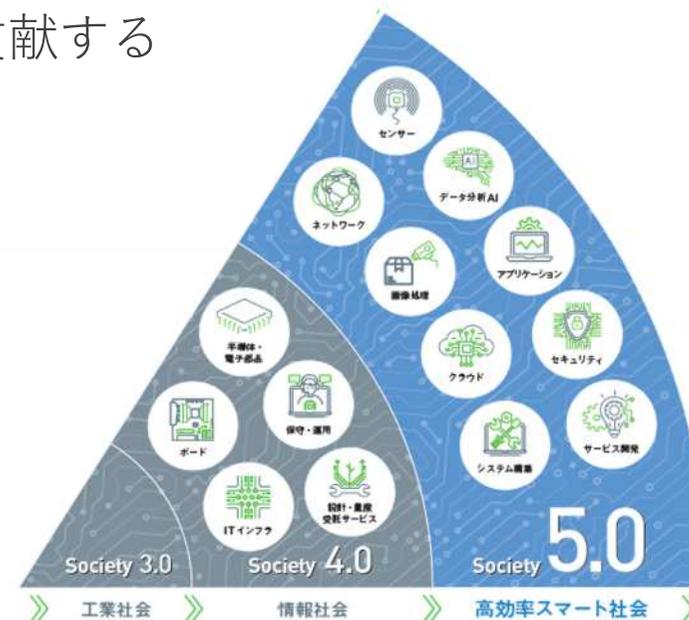
低成長経済下における
高効率スマート社会



当社のMISSION

DRIVING DIGITAL TRANSFORMATION

デジタルトランスフォーメーションを
実現する製品・サービスを提供し
高効率スマート社会の持続的発展に
貢献する



技術商社機能を持つメーカーへ

進化する技術商社機能

- データ・サービス・ストックビジネスを利益源泉とするビジネスモデル
- メーカー事業の成長に資する顧客基盤の維持・拡大
- 安定的な利益基盤の構築

メーカーとして目指す形

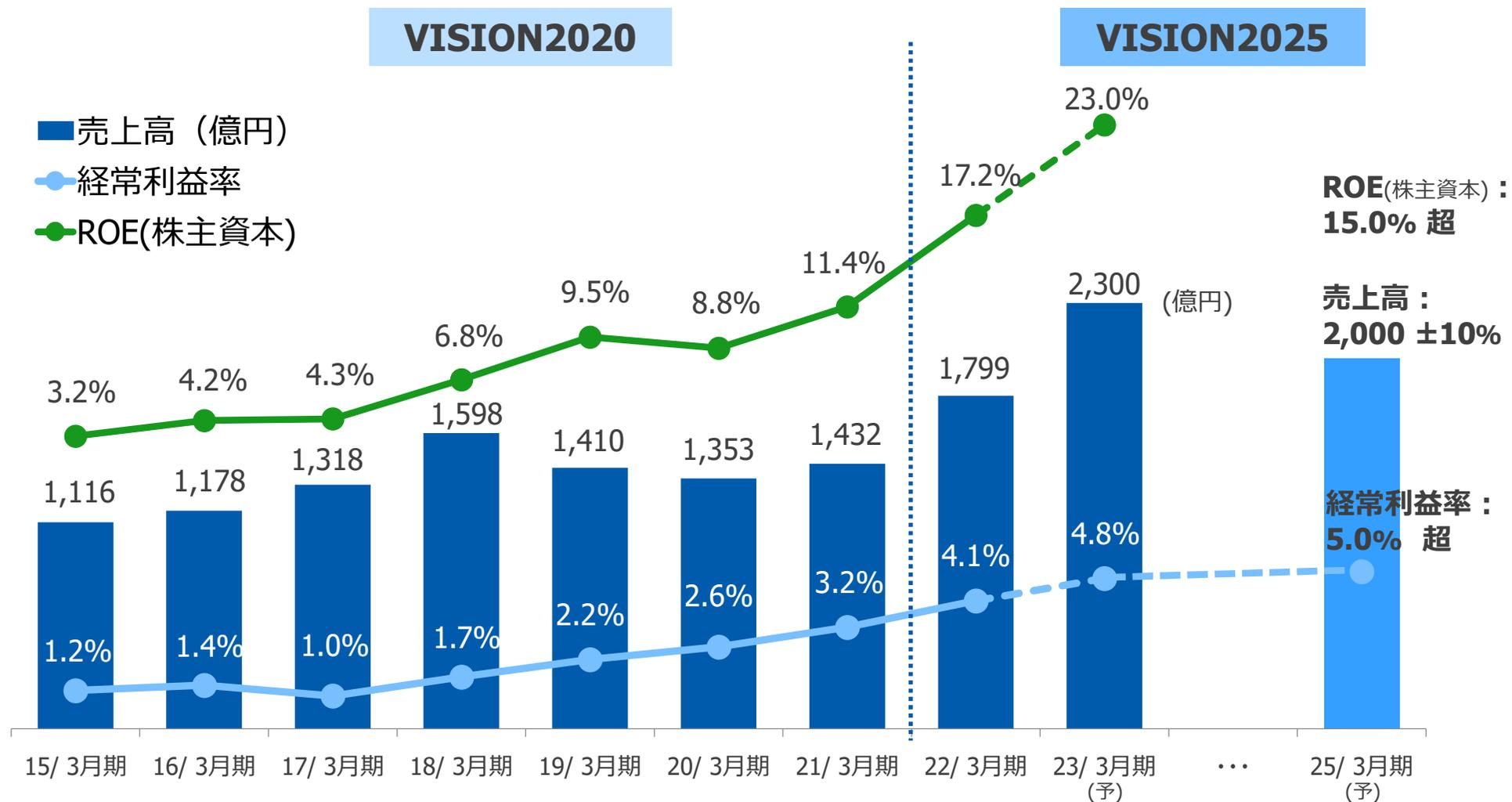
- モノづくりシステムメーカー
- ODMメーカー
- 課題解決型の設計開発部門
- 高効率スマート工場

増益増収（増益率＞増収率）による持続的成長を目指す

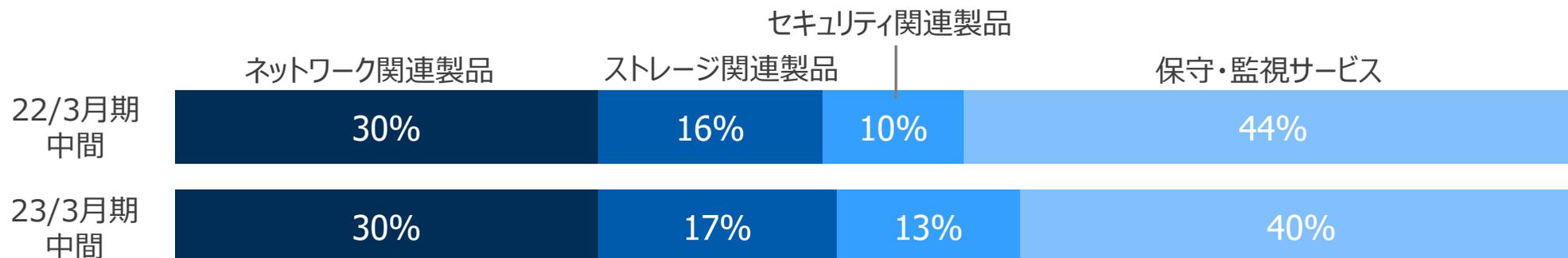
- 2025年3月期
 - 売上高 2,000 億円 ±10%
 - 経常利益率 > 5 %
 - ROE（株主資本） > 15 %

	売上高構成比	経常利益率
CN事業	20 %	> 13 %
EC事業	70 %	> 2 %
PB事業	10 %	> 10 %

中期経営計画 VISION2025：実績と計画



CN事業 品目別売上高構成



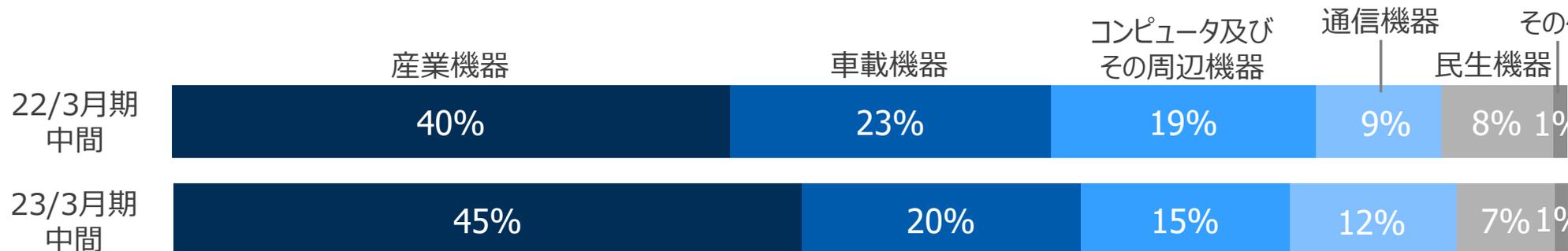
品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ネットワーク 関連製品	27.8%	システムインテグレーター エンタープライズ向け 機器販売好調	F5 アリスタネットワークス エクストリームネットワークス
ストレージ 関連製品	42.3%	システムインテグレーター向けフラッシュストレージ大型 案件	ピュアストレージ デル・テクノロジーズ
セキュリティ 関連製品	53.6%	システムインテグレーター向けクラウドセキュリティ エンタープライズ向けエンドポイントセキュリティ伸長	ニュータニックス ネットスコープ
保守・監視サービス	14.3%	ストレージ製品保守増加	TED

EC事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
アナログIC	26.6%	所要増により全分野で増加	TI / NXP
プロセッサ	15.9%	コンピュータ周辺機器 産業機器増加 POS低調	NXP / TI / インテル / インフィオン
ロジックIC	60.0%	産業機器 基地局向け増加 車載機器向け商権移管	TI / NXP / ラティス / インフィオン / マクシリア / リアルテック / ソシオネクスト
メモリIC	46.9%	車載 産業機器増加	インフィオン
ボード・電子部品他	78.2%	通信基地局向け増加 PCストレージ向け増加	NXP / PFU / ハギワラソリューションズ / ams / ウェスタンデジタル / インテル
ソフトウェア・サービス	20.0%	クラウドビジネス増加	マイクロソフト / DELL / マカフィー
PB	42.9%	設計・量産受託サービス TED長崎 ファースト増加	TED / TED長崎 / ファースト

EC事業 用途別売上高構成



用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	53.0%	医療機器 放送機器 監視カメラ FA機器 計測器 工業用ロボット 工作機械 半導体製造装置 インバータ	所要増によりアナログICプロセス増加 半導体製造装置 医療機器向けボード増加
車載機器	19.2%	ナビゲーション カーオーディオ ボディ系	所要増によりアナログICプロセス増加
コンピュータ及びその周辺機器	1.7%	複合プリンタ プロジェクタ OA機器 ストレージ サーバー PC及び付属機器 POS	POS向けプロセッサ大幅減少 所要増によりPCサーバー PCストレージ向けプロセス増加
通信機器	90.8%	ルータ 伝送装置 基地局	基地局向け 電子部品 プロセッサ ロジックIC増加
民生機器	26.7%	デジタルカメラ デジタルビデオカメラ TV DVD AV機器 家庭用ゲーム リモコン 白物家電	電子楽器向けアナログIC増加

品目



	品目	主な製品	機能
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置 イーサネットスイッチ	インターネットの接続負荷の分散 スイッチングハブ
	ストレージ関連製品	フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	セキュリティ関連製品	エンドポイント ネットワーク クラウド	コンピュータシステム、ネットワーク、データなどを、攻撃や 破損、不正アクセスから保護する
	保守・監視サービス	機器の保守サービス セキュリティ監視サービス	
EC事業	アナログIC	アナログIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	ロジックIC	画像処理用IC 通信・ネットワーク用IC ASIC PLD	論理回路をパッケージ化したIC 特定用途向けに作ら れた専用IC お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ボード・電子部品他	ボード 電源 光学部品	プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品 (ボード)
	ソフトウェア・サービス	ソフトウェア クラウドサービス	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア サブスクリプションでのサービス提供
	PB	設計・量産受託サービス 自社ブランド製品	お客様の仕様に応じた基板の設計・開発・量産 製造業向け機器

受注残高の推移

